

経営評価シート

1. 団体の基本情報							
団体名	福岡北九州高速道路公社			設立年月日	昭和46年11月1日		
所在地	福岡市東区東浜二丁目7番53号						
出資総額	224,732,600千円		主な出資者	出資額	出資割合		
県出資額	112,366,300千円		福岡市	83,618,500千円	37.2%		
県出資割合	50.0%		北九州市	28,747,800千円	12.8%		
				千円	%		
設立目的等	福岡市及び北九州市の区域並びにその周辺の地域において、その通行または利用について、料金を徴することができる指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕、その他の管理を行うことにより、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業の発展に寄与する。						
主要事業の内容							
事業名	事業内容						
福岡高速道路	福岡高速道路の3号線の建設及び供用中の路線の維持、修繕、その他の管理を行うこと。計画延長60.5km、供用中59.3km。						
北九州高速道路	北九州高速道路の維持、修繕、その他の管理を行うこと。計画延長49.5km、供用中49.5km。						
事業実績に関する情報	単位	H29	H30	R1	R2	R3	備考
供用延長(福岡高速道路)	km	56.8	56.8	56.8	59.3	59.3	
供用延長(北九州高速道路)	km	49.5	49.5	49.5	49.5	49.5	
通行量(福岡高速道路)	台/日	189,925	190,381	188,280	157,410	173,282	
通行量(北九州高速道路)	台/日	92,885	92,304	90,298	75,843	80,923	
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	理事長	喜安 和秀	区分	国OB	常勤		
常勤役員名	副理事長	久保 尚亮	区分	県OB			
常勤役員名	理事	坂本 正文	区分	県OB			
常勤役員名	理事	有吉 知美	区分	福岡市OB			
常勤役員名	理事	東 義浩	区分	北九州市OB			
		H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1
常勤役員数(※)		5名	5名	5名	5名	5名	5名
職員数	常勤(正規)	95名	109名	120名	131名	134名	139名
	うち プロパー	56名	69名	80名	86名	85名	85名
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	64名	53名	51名	42名	36名	39名
	合計	159名	162名	171名	173名	170名	178名
増減の主な理由							
R3年度→R4年度 ・設立団体派遣+5(福岡高速空港線事業及び北九州高速大規模補修事業によるもの) ・嘱託等+3(福岡高速空港線事業及び北九州高速大規模補修事業によるもの)							
3. 県関与の状況							
人的支援 (常勤役職員再掲)(※)		H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1
	県派遣	15名	16名	15名	20名	20名	24名
	県OB	4名	4名	4名	4名	4名	3名
財政支出		H29	H30	R1	R2	R3	備考
	出資金	324,000千円	384,000千円	361,500千円	486,000千円	51,000千円	
	貸付金	756,000千円	896,000千円	843,500千円	1,134,000千円	119,000千円	
	補助・負担金	12,456千円	13,708千円	15,339千円	15,481千円	15,643千円	
	委託料	-	-	-	-	-	
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(H29~R3)							
安心して都市高速を利用していただくため、確実な点検・維持、補修や老朽化対策に取り組む。安全・安心・円滑なサービスの提供を実施しながら、利用促進や経費削減を図り、効率的で安定的な収入確保に努める。また、事業を確実に実行するための組織を構築し、新規路線の整備及び早期事業化に向けた取り組みを実施する。							

4-②. 中期経営目標における改善目標の達成状況

改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標	単 位	上段:計画 下段:実績						自己評価	改善目標区分の達成に向けた2021年度(R3)の取組状況		
				2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)				
事業活動・住民サービス (計画性 公益性 等)	①都市高速の利用促進により社会・経済活動の円滑化を図る。	交通量 (福岡・北九州合計)	台/日		279,530					279,530	B	次のような広報等(例として一部を記載)を実施し、都市高速の利用促進を行った。 ・都市高速の路線や料金、走行上の注意等を分かりやすく説明したスイスマップを設置。(主な設置場所は、都市高速の全ての料金所、主要観光施設及び観光案内所、都市高速周辺の大型商業施設、関係庁舎、自動車学校、レンタカー会社、NEXCOのサービスエリア及びパーキングエリア、道の駅) ・福岡市及び北九州市周辺の小学生とその保護者向けに配布される冊子に、都市高速の利用を促進する広告を掲載。 ・県内の自動車学校で新規免許取得者に配布される冊子に、都市高速の安全運転のポイントや出入口の紹介記事を掲載。	
		料金収入 (福岡・北九州合計)	百万円/年		59,355					59,355			B
		供用延長 (福岡高速)	km		56.8					59.3			
					56.8	56.8	56.8	56.8	59.3	59.3			
	供用延長 (北九州高速)	km		49.5					49.5	A			
			49.5	49.5	49.5	49.5	49.5	49.5					
②橋梁、トンネル等の近接目視点検を実施し、緊急措置段階発生件数のゼロを維持することにより、長期的な安全性の確保に努める。	緊急措置段階発生件数	件		-					-	A			
			-	-	-	-	-	-					
財務会計 (経済性 効率性等)	①借入金の調達に際し、効率的な資金調達に努め、将来の金利負担の軽減に努める。	資金調達方法	-		5・10・15・20年の償還年限の資金調達を組み合わせ、適切な資金調達を実施する。					5・10・15・20年の償還年限の資金調達を組み合わせ、適切な資金調達を実施する。	A	証書借入(5年)及び公募債(10年)の発行という複数の資金調達を実施して金利の低減を図るとともに、元金償還時期が集中することによる借換時の金利変動リスクや特定の年限での借入れにより生じる金利変動リスクの軽減・分散を図った。	
					5・10・15・20年の償還年限の資金調達を実施した。	5・10・15・20年の償還年限の資金調達を実施した。	5・10・15・20年の償還年限の資金調達を実施した。	5・10・15・20年の償還年限の資金調達を実施した。	5・10年の償還年限の資金調達を実施した。				
	県財政支出額	千円		1,094,892					16,342	C			
				381,955	1,092,456	1,293,708	1,220,339	1,635,481	185,643				
②効率的な経営を推進し、安定的な収入確保による計画的な長期借入金残高の縮減を図る。	長期借入金残高	百万円		566,217					473,335	A			
				588,237	554,253	520,268	488,836	469,200	438,282				
県債務(損失)保証額	百万円		241,254					208,260	A				
			247,859	235,481	223,174	210,506	203,492	191,090					
内部管理 (健全性等)	①維持管理及び建設事業に必要なかつ効率的な組織・人員体制を実現するため、職員の能力を適正に評価する。	人事評価制度の導入		今後も適切に実施していく。					今後も適切に実施していく。	A	各所属に求められる能力を把握したうえで、人員配置を行うとともに、管理職が職員の業務目標について定期的に進捗管理を行い、人事評価することで職員の能力を適正に把握した。		
	導入済派遣職員プロパー職員嘱託職員	導入済派遣職員プロパー職員嘱託職員	導入済派遣職員プロパー職員嘱託職員	導入済派遣職員プロパー職員嘱託職員	導入済派遣職員プロパー職員嘱託職員	導入済派遣職員プロパー職員嘱託職員							
達成状況(まとめ)													
<p>令和2～3年度の達成状況について、改善目標である「事業活動・住民サービス」ではスイスマップなどの広報物の配布による都市高速の利用促進、道路構造物の近接目視点検の確実な実施による長期的な安全性の確保、「財務会計」では将来の金利負担の軽減など効率的な経営の推進、「内部管理」では人事評価制度の導入による職員の能力の適正な把握などの取組を進めた結果、新型コロナウイルス感染症の影響により目標を下回った交通量や料金収入以外の項目については、目標を達成することができた。</p> <p>今後も引き続き、取組を推進し、安全・安心・円滑なサービスを提供するとともに、安定的な収入確保に努めていく。</p>													

- ※自己評価分類:
- A 達成されている。概ね達成されている。
 - B 新型コロナウイルス感染症の影響により達成できなかった。
 - C 目標が達成できなかった。(Bを除く)

5. 経営状況(道路公社)							
項目	単位	H29	H30	R1	R2	R3	
【貸借対照表】							
資産合計	千円	1,268,413,718	1,275,255,159	1,283,497,482	1,298,434,190	1,300,864,746	
うち金銭債権	千円	5,506,924	5,560,161	5,470,505	6,250,948	5,331,071	
うち棚卸資産(販売用不動産含む)	千円	-	-	-	-	-	
負債合計	千円	1,045,188,421	1,051,243,588	1,058,739,156	1,072,679,209	1,074,977,250	
うち借入金額	千円	554,253,227	520,268,284	488,836,143	469,199,677	438,281,530	
うち県からの借入金額	千円	41,642,308	36,955,689	33,907,167	31,103,761	28,161,706	
資本の部合計	千円	223,225,297	224,011,571	224,758,326	225,754,981	225,887,496	
県債務保証額又は損失補償額	千円	235,480,666	223,174,144	210,506,485	203,491,681	191,089,608	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
【損益計算書】							
業務収入①	千円	60,929,337	61,110,268	60,798,621	51,564,953	55,957,903	
業務損益②	千円	45,385,972	45,320,571	43,249,198	35,177,883	37,511,918	
償還準備金及び道路(駐車場)事業損失補てん引当金繰入前損益③	千円	39,642,528	40,509,461	39,224,802	31,711,134	34,169,022	
当期損益	千円	25,885	18,274	23,756	24,654	30,515	
【収支計算書】							
総収入 A	千円	96,188,779	100,703,947	94,472,990	77,392,155	61,498,697	
うち県財政支出額	千円	1,092,456	1,293,708	1,220,339	1,635,481	185,643	
内訳: 出資金	千円	324,000	384,000	361,500	486,000	51,000	
内訳: 補助金・負担金	千円	12,456	13,708	15,339	15,481	15,643	
内訳: 委託料	千円	-	-	-	-	-	
内訳: 貸付金	千円	756,000	896,000	843,500	1,134,000	119,000	
総支出 B	千円	95,925,875	100,605,054	92,910,299	73,704,562	62,351,044	
うち人件費総額	千円	1,234,017	1,254,638	1,357,769	1,383,211	1,483,567	
当期収支 A-B	千円	262,904	98,893	1,562,691	3,687,593	△ 852,347	
【財務指標】							
自己資本比率	%	17.6	17.6	17.5	17.4	17.4	
県財政支出率	%	1.1	1.3	1.3	2.1	0.3	
人件費率	%	2.0	2.1	2.2	2.7	2.7	
繰入前損益率	%	65.1	66.3	64.5	61.5	61.1	
【団体毎の経営評価指標】							
料金収入実績							
福岡高速	千円	42,446,124	42,588,857	42,613,589	35,906,842	39,433,074	
北九州高速	千円	17,735,763	17,680,138	17,504,455	14,910,122	15,888,142	
収支率(費用/収入)							
福岡高速	%	36.5	35.8	37.9	40.4	42.1	
北九州高速	%	45.8	43.0	44.7	48.4	46.3	
【常勤役職員の報酬・給与に関する状況(R3年度)】							
常勤役員平均年齢	61.2歳	常勤役員平均年収	10,843千円	常勤職員平均年齢	39.9歳	常勤職員平均年収	6,958千円
【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】							
<p>収入については、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、通行台数が福岡高速で15,872台/日、北九州高速で5,080台/日、対前年比で増加したことにより道路料金収入が増加した。</p> <p>費用については、道路修繕費や道路管理費、納付消費税等の増加が、金利低下による支払利息の減少を上回ったため、総額として増加した。</p> <p>収入の増加が費用の増加を上回ったため、借入金の償還等に充てる「償還準備金及び道路事業損失補てん引当金繰入前損益③」は、前年度より7.8%増加した。</p>							
6. 団体(経営責任者)の自己点検評価							
<p>都市高速の安全確保のため、平成29年度に策定したインフラ長寿命化計画(個別施設計画)に従い、メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)の取り組みを着実に実施している。交通量及び料金収入は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したが、今後も引き続き適正な維持管理に努めるとともに、社会情勢を踏まえつつ、利用促進を図っていく。</p>							
7. 外部専門家の意見							
<ul style="list-style-type: none"> 福岡高速及び北九州高速の通行量及び料金収入について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年度からは回復しているものの、中期経営計画における改善目標を下回っている。 福岡高速では6号線が供用開始され、また新たな事業推進に取り組んでいることから、引き続き健全な経営を維持するため、利用促進及びコスト縮減に取り組むことが求められる。 							
8. 経営評価委員会による経営評価結果							
<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、交通量及び料金収入は目標を下回ったものの、公社の経営努力もあって、借入金の償還は順調に進んでいる。今後とも高速道路の利用促進や経費削減により、公社経営の安定化に努めるとともに、都市圏幹線道路の整備促進を図るため、福岡空港関連自動車専用道路の事業を推進していくこと、また、安全・安心の高速道路を維持するため、計画的に老朽化・予防保全対策に取り組むことが求められている。</p>							